

# 『技術者のコミュニケーションを 見つめなおすワークショップ』

国際ファシリテーション協会 理事 本間直人

<http://www.gnf.jp/>

## 1. オリエンテーションファシリテーションとは何か？

「グループの可能性を最大限に活かす力」 ファシリテーションを定義する時には、いろいろな説明の言葉があります。「まとめる」「仕切る」「引き出す」などなど、10人いたらきつと10通りの言い方があるはずですが。

でも共通しているのが、対象が個人ではなく「グループ」であること。つまり目の前に2人以上のメンバーがいて、何かのゴールを目指そうとしている。そのプロセスをいかに易しく効率的に演出していくかが「ファシリテーション」、その担い手が「ファシリテーター」と言えます。

もともとこのファシリテーションという言葉は英語で「容易にすること・促進すること」という意味があります。会議などで煮詰まった時に、ファシリテーションの技術を使うことによって、進行がスムーズになるという場面が典型的なケースです。

近年、教育現場や企業の研修では一方通行の授業や講義ではなく、参加型のワークショップ形式を取り入れた双方向スタイルが注目されています。この場面を仕切るのがまさしくファシリテーター。参加者の雰囲気や場の空気を読みながら、効果的なエクササイズを組み込み、楽しく学んでいく環境を作るというのは、専門的な知識と経験が必要なプロフェッショナルの仕事と言えるでしょう。

実は欧米ではファシリテーションという言葉は、特別なものではなく、リーダーシップやマーケティング同様、ごく普通の言葉として使われています。日本でもこれまでも「和風ファシリテーション」が、きっとそれぞれの現場で使われてきたはずですが。もともとチームワークというのは日本のお家芸です。これからあらためてこのファシリテーションという言葉が世の中に浸透することで、より効果的なチームの可能性を引き出す力が生まれ、組織、地域、社会を変えていく原動力になることは間違いありません。

(国際ファシリテーション協会のWEBページより)

ファシリテーションには、物事を容易にする、触媒の作用のような意味があります。本来進むべき方向に進むことをたすけ、進む力を妨げる要因を回避しつつ、参加者一人一人の自発性参加意識を高め、衆知を集め、意思決定を促進することをめざします。

今日は、“コーチング=信・認・任“をメタスキルとして使用して、コミュニケーションについて2時間一緒に学びます。

## 2. コミュニケーションの見直し

二人一組のダイヤードによるコミュニケーション実習を通じて、環境のつくり方、聴く力などについて体験的に学ぶ。

コミュニケーションの3つの機能

(1) 理解を増やす

(2) 人間関係に影響を与える

フェイス・トゥ・フェイス・コミュニケーションが基本

言語 %

音声 %

身体 %

合計 100 %

(3) 信頼関係を築く

## 3. アイスブレイキング

参加者一人一人の価値感についてを話題に小グループでの話し合いを行い、多様性や、コミュニケーションの基礎となる共通認識、などについて体験的に学習する。

また、グループダイナミクスを活用する、アイスブレイキングとしても機能して、このあとのブレイン・ストーミングの活発化を容易にする。

#### 4 ブレインストーミングの方法

C	Creative	思いつくままに
L	Link	発想をつなげる
E	Enjoy	楽しく調子に乗って
A	Agree	否定しない
R	Record	全員が記録する

“会議の進行を妨げるもの”について。4人一組5分間で100個出す。

**突き抜けるための目標。と、達成するための目標。**

**小グループによる議論の活性化**

**全体での共有化の技法。**

**大人数の会議で発言する人を増やす方法。**

## 5. プランニングの 8W4H

WHO	責任者・対象者
WHY	目的
WHAT	活動内容
WHAT NAME	名称
WHEN	時間（時期・頻度・長さ）
WHERE	場所
WITH WHOM	参加者・協力者
WITH WHAT	道具・設備
HOW	方法
HOW MUCH	費用・費用負担
HOW UNIQUE	演出・特色
HOW GOOD	評価方法

### 参考図書

コーチングについては、以下の書籍など参考にさせていただけると幸いです。

本間正人 本間直人著 「コーチングに強くなる本 応用編」 PHP 研究所 514 円

本間正人著 「入門ビジネスコーチング」 PHP 研究所 1200 円

本間正人著 「コーチングに強くなる本」 PHP 研究所 514 円

本間正人著 「人を育てる「叱り」の技術」 ダイヤモンド社

本間正人著 『[[図解] ビジネス・コーチング入門  
「双方向」コミュニケーションへの 50 の視点』  
PHP 研究所 571 円

本間直人・本間正人については、<http://www.homma.com/> をご覧ください。

経歴、近日開催の公開セミナーなども掲載しています。

